



【リクエスト講座】とは、園・学校・各種団体からご依頼を受けて、ご依頼団体と一緒に企画・運営する講座です。遠足などの校外学習での自然体験や環境・防災学習、学年・学級PTA活動や公民館活動などの団体レクリエーションとして楽しめる講座まで、ご希望に応じて企画・運営いたします。お気軽にご相談ください。

利用料は無料です

野外自然体験の会場はかわらんべの正面です。トイレ、道具、雨天、着替えや昼食場所も心配ありません



野外での自然体験 小2生活科関連

小川で魚とり



4月～10月(適期は5月～9月)

安全な小川でドジョウやメダカ、エビ貝、ヤゴなどをつかまえ、触ったり観察したり、川の生き物とのふれあい体験ができます。魚の数や種類は豊富で、小さな子でも簡単にとれます。

室内での創作体験 雨天時也可

石ころアート・ストーンペインティング



通年 雨天時也可

天竜川の河原で石をひろって石の色やカタチから魚やカメなどを想像してカラーペンで絵を描きます。テーマを決めたり、共同作業で合作することもできます。

川や水・生き物と自然の学習

防災学習【三六災害】



通年

三六災害の発生要因・被害・復興や災害伝承など、水害の発生しやすい伊那谷の自然特性を映像や写真で解りやすく解説します。

小14社会科関連

草はらで虫とり



バッタは9月～10月がお勧め

正面の草原にいるバッタやトンボやチョウをアミでとって種類や生活を学習します。初秋には大きな【トノサマバッタ】がいて、とれたときの感激は格別です。

花や葉でしおり作り



季節に応じた材料を利用

正面の草原でつみとった花や葉の種類や特徴を観察してラミネートで包んで【しおり】にします。花の種類や配置を工夫することでしおり作りの楽しみも広がります。

流れる水のはたらき



通年

かわらんべ正面の天竜川や小川で実際の川の流れを見ながらその働きを学びます。蛇行や瀬・淵、川底の石や砂がそのまま教材になります。

小15理科関連

自然ウォッチング



通年

正面の草原や林の中でタンポポやノビルを見つける春さがしや、花や野草を観察して植物のカタチやくらし、季節の特徴を学びます。

木の実や落ち葉で工作



季節に応じた材料を利用

木の実でおきもの作り、額作り、紅葉でカレンダー作りなど、木の実や葉などの自然の材料を利用して創作します。材料の種類・特徴の観察が発想を豊かにします

外来生物の学習・実習



通年(実習は6月～10月)

館内で外来生物の現状や在来種の重要性和環境保全の必要性を学び、かわらんべ正面でアレチウリや外来エビの駆除作業の実習もできます。

総合学習関連

本格的に川遊び



7月～9月:夏休み頃がお勧め

近くの久米川まで足を伸ばせば水中観察・川流れ・魚つかみなどの本格的な川遊びが体験できます。ライフジャケットや水中メガネ、日よけテントなどの道具も揃っています。

生きものカード作り



4月～11月

草花・虫・鳥・魚や動物など、野原や小川で見つけた生き物の特徴を観察し、台紙に描いてカードにします。

作品を展示すれば植物園・動物園・水族館としても楽しめます

水生生物による水質調査



通年

水のきれいさを、つかまえた川の生き物から調べる方法を体験します。身近な川の生き物の存在を知り、最近の水質改善の成果も紹介します。

総合学習関連

SDGs学習や探求学習にも関連

河川が関わるSDGsの具体目標(ターゲット)についての取り組み事例の紹介と実習や、探求的な学習に最適なテーマやフィールドを備えた環境での体験活動の運営も可能です。



外来生物の調査と駆除

目標6:安全な水とトイレを世界中に

●ターゲット6.6: 河川・湖沼などの水系生態系の保護と回復

目標11:住み続けられるまちづくり

●ターゲット11.5: 水災害による被害を減らす防災学習

目標14:海の豊かさを守ろう

●ターゲット14.1: 川のゴミ拾いや水質浄化による海洋汚染の防止

目標15:陸の豊かさを守ろう

●ターゲット15.5: 絶滅危惧種の保護・絶滅を防ぐための対策

●ターゲット15.8: 外来種を減らす取り組み

出前講座や出前授業・オンライン授業にも対応

ご希望の会場へ出張してリクエスト講座を運営します

リクエスト講座の中には出張対応で運営できるものもあります。右の写真のような地区行事や公民館活動、学校や自治体の水生生物調査や環境学習をご希望の会場で運営することも可能です(会場や運営には条件があります)。また、感染対策としてのオンライン授業にも対応します。



身近な川での現地実習



地区や公民館行事



教室へ出張しての授業やオンライン授業にも対応